

ユリウス生受験体験談

「がんばれば結果がでる」

S 教室 M さん 中学受験

ぼくがユリウスに入ったのは、6年生の夏休みからでした。もっと成績を上げたいのと、志望校に合格したいと思ったからです。ぼくががんばったことは、朝早く起きて漢字や計算を毎日やりました。それから、ユリウスの授業が始まる前に行って自習をして、授業が終わったあとも自習をしました。

苦戦したことは、休けいの時にスマホを見てしまったり、ねるのがおそくなって朝起きるのが辛い時もありました。

志望校を決めた時期は、とてもおそく、ぼくにとっては、チャレンジ校だったけど合格したかったから過去問を何度もやって分析し、出そうな問題をテキストなどからえらんで解いたり、計算問題も集中的にやりました。国語は漢字、慣用句、四字熟語を一生けん命やりました。

入試を通じてぼくは、がんばれば結果が出るということを学びました。辛かったけど最後まであきらめないでよかったです。ぼくにたくさんの宿題を出してくれて、それをがんばってこなし、いつもていねいにやさしくわかりやすく教えてくれました。先生のアドバイスで合格できました。本当にありがとうございました。中学生になったら勉強も部活もがんばって、入試で学んだことを生かして努力していきたいです。

「ユリウスに行くのが楽しかった」

J 教室 K さん 中学受験

S 先生と K 先生に本当にお世話になりました。S 先生は 5 年生の時から授業を教えてもらい、毎週ユリウスに行くのが楽しかったし、「行く」じゃなくて「行きたい」でした。また、テストなどでいい点数をとったら自分のように喜んでくれてうれしかったです。また、いつも笑顔だから自分も笑顔になるので毎週元気ももらっていました。そして最後の「おめでとう面談」でも話をたくさんふってくれたり終始笑顔で心がほっこりしました。本当にありがとうございました。

K 先生は 6 年生の過去問こう座で出会いましたね。私はそのときんちょうしすぎて固まっていたら K 先生は優しく笑顔ではなしかけてくれて、きんちょうがほぐれました。すると本科の月曜日の担当になってくれてすごくすごくうれしかったです。また、分かりやすいし分からなかったら 1 つ 1 つていねいに教えてくれて時間はあつという間にすぎるし分からない問題がなかったです。本当にありがとうございました。改めて S 先生、K 先生ありがとうございました。

「ユリウスのサポートに感謝」

H 教室 U さん 中学受験

私は 5 年生の頃からユリウスに通っていてお世話になっていましたが、特に思い出される事は入試直前や前日のことです。自分の志望校に頻出で、よく間違える問題の類題をたくさん用意してくれ、自分が過去問で間違えたところを紙に書き出してくれました。私はこの紙を読んで、入試当日の電車の中や会場で落ち着きを保つことができました。

また、志望校への 2 度の不合格の際、前日の入試問題を一对一でサポートしてくれました。そして、3 回目の受験でやっと合格することができました。先生や室長が最後の最後まで、見離さずに、自信を失いかけていた自分をサポートしてくれました。感謝しかないです。本当にありがとうございました。

「受験という大切な経験」

A 教室 F さん 中学受験

受験の1か月前が一番自分はそわそわしていたと思います。なぜなら、自分の偏差値が目標にぜんぜん届いてなくて、「このままだと受験、落ちるかもしれない」と焦っていた時期だったからです。逆に受験当日はぜんぜん緊張はしなかったです。なぜなら荷物を準備するときは旅行気分、入試を受けるときはいつものテスト気分♪と逆に楽な気分で行った方が安心してミスなく終われると思ったからです。

1回目で合格したときは、不思議で、あまりおどろかなかったです。自分の中でも、もっとおどろいたり、喜んだりすると思っていたのに、その時は冷静に対処していました。

本当は東京の学校も受ける予定でしたが、やめて1月の受験で終わりにしました。まだ、2月の受験もある！と思って気を張っていたのが一気になくなり、同時に合格した喜びや嬉しさが分かってきて、今度は思う存分喜んで、泣いて、やっと合格をつかみ取ったんだという実感がわいてきました。合格の喜びや嬉しさが分かった気がしました。本当に合格できて良かったし、この受験という大切な経験を忘れずに記憶に残したいと思いました。

「偏差値20の成長」

O 教室 S さん 中学受験

ぼくがユリウスに入ったのは6年生のゴールデンウィークでした。最初は勉強するのは好きではなく少ししかのびませんでした。しかし、夏期講習になり親に毎日、自習に行かせられて自習をして授業を受けるということをしていると夏期講習前より急に点数があがりました。点数が大きくあがると自分もうれしいので今度は「親に行かせられる」のではなく自分から「行きたい」と思い行くようにしました。夏期講習が終わり9月・10月にまた成績がおちてしまいました。12月くらいからぼくは計算ミスを指摘されたからそれをなおすために百マス計算をしたり計算ミスの過程を見直す工夫をはじめたり、メモリーチェックにマーカーで大切なところに線をひいたり基本の部分を完璧にして夏期講習の自分にもう一度なろうと思いがんばりました。

入試を受け4年生のころにいつもとっていた偏差値と20くらい違うところにいけました。その20の成長は勉強する科目への関心と「絶対うかってやる」という気持ちとユリウスと日能研の先生のおかげです。

「合格した時の喜び」

A 教室 O さん 中学受験

私は、ユリウスの授業の中で特に過去問完成講座が役に立ったと感じました。とても大変ですが、長い時間やるので、体力向上につながったり、過去問を徹底的にやってくれるので傾向と解説がとても身につくからです。また、分からない問題があったら先生に分かるまで質問をして下さい。全てに対して、見直しにしっかり時間をかけることが一番大切だということを実感しました。今は辛いかもしれませんが、合格したときの喜びはとっても大きいです。自信をもってやり通しましょう！応援しています！！

「努力は必ず実ります」

A 教室 Iさん 中学受験

努力はかならず実ります。がんばれ。算数をおしえてくださってありがとうございます。(先生) 新六年生のみなさんへ十月から過去問が始まりますので入試に備えてください。

「受験生に伝えたいこと」

T 教室 Mさん 中学受験

僕はこの中学入試を通してたくさんの方を学びました。その中でも受験生の方に伝えたいことが2つあります。まず1つ目は授業です。ユリウスの授業(指導時間)はとても貴重な時間です。保護者が自分のためにはらってくれたお金で成立している時間です。保護者に感謝し、集中して授業に参加しましょう。でも、人間本気で集中できるのは、せいぜい30分程度です。授業90分をフルで集中することは、ほとんどの人ができません。ゲームやスマホなどの中毒性のあるものでなく。肩回しや、首回しなどの休けいをとってください。授業を集中して受ければ、家庭学習はスムーズにすることが可能です。ですが、授業を集中せず理解しないでいると、いつかは分かりませんが、つけがまわって自分が困ります。それがもう手おくれにならないよう注意してください。2つ目は健康です。僕は1月30日に旧型コロナにかかりました。とてもつらかったです。どんどん悪化し、第1志望校をあきらめました。とてもつらかったです。みなさんにはそのような思いをせず、第1志望校に合格してほしいので、くれぐれも気をつけてください。最後に通う小学校についてです。僕は受験期であってもできるだけ学校に行ってほしいと思います。人はいくら勉強が好きでもストレスがたまり自分がつらくなってしまいます。また、学校でインキヤになりがちです。体験記は終わりますが、受験勉強がんばってください!!

「ユリウスで自分に自信がついた」

T 教室 Iさん 中学受験

私は、他の塾で三年生から四年生まで中学受験の勉強をしていましたが、五年生になる前に中学受験をやめました。しかし、心のどこかで、「もう一度、チャレンジしたい」と思い、五年生の冬期講習から日能研でお世話になろうと入塾しました。

とはいえ、五年生の時に中学受験の勉強をやっていないブランクは大きく、授業に全くついていけないのが現状でした。そのため、自分の苦手なところや基本から指導して下さり、自分のペースで教えてくれる個別指導のユリウスに入ることを決めました。

第一志望校は、前の塾の模試で初めて来たときに、家からは遠かったのですが、校舎はテレビドラマに登場してくるような校舎で、印象深かったです。そこで再度、中学受験を始めたときに、この学校を第一志望校に決めました。

ユリウスでは、気軽に質問したり、毎回の試験のできなかつたところを教えてもらえるのがよかったです。私は、算数ができなかつたので、夏期講習では、本当に基本的なところからプログラムを組んで下さり、そこも成績向上につながつたのではないかと思います。また、ユリウスでは、過去問講座があつて、担当の先生は過去問の苦手なところの分野を把握して下さり、そこを中心的に、普段の授業でも扱ってくれました。そして、毎日の計算や漢字テストを個人的に出してくれたので、私は計算が少しだけ好きになりました。自分にも自信がついたし、成績も上がつて、本当にユリウス様々です。

「心をおちつかせて力を発揮」

S教室 Tさん 中学受験

日能研の制度が好きじゃなかったため、こちらに入塾した。最後のおいこみでコツコツと勉強をした。最初の方は勉強習慣がつかなかったが、自分の目標を意識することで乗り越えた。年代がのっている単語やおぼえられるようなものは単語帳にまとめて暗記した。6年の10月くらいに兄が行っているところに行きたいと思ってきめた。不安ではあったけれど、心をおちつかせて入試にそなえた。新しいスタートという中学校の合格。みんなきんちょうしているから、心をおちつかせて、力を発揮しよう。いつも支えて応えんしてくれてありがとうございました。

「最後まであきらめないのが大切」

S教室 Fさん 中学受験

6年の12月の公開もしでも、へんさちが上がらず、やばいと思い、最後の1月ぐらい算数の計算ミスなどを減らすため字をきれいに書くようにしたり、計算の余白を考えて書くようにしたり、社会の歴史を中心にあんきをいっぱいした。漢字なども前より、きれいに書くように意識をした。最後まであきらめなくてよかった。最後まであきらめないのが大切なのだと思います。

「ねばりづよくあきらめないでください」

T教室 Nさん 中学受験

私は、算数の成績が伸びないのでユリウスに入りました。入る前の時は算数が苦手&嫌いだったので1時間30分ずっと算数をやるのはきつかなと思ったのですが、入ってみたら、そうではなく楽しくできたり、むしろ自習して帰ろうと思えるほど気が楽でした。私はその後理科の授業もうける事になったのですが、理科も私は物理が苦手だったのですが、先生と練習したりコツを見つけて、実践するなどをしてみたら、物理ができるようになり、実際入試問題に出てきた物理はスラスラ解けるようになりました。私は3年生から日能研に通っていたのですが、いつも一番下のクラスでクラスの中でも下のような成績だったのですが、それでもねばり強くあきらめないでやってきたので、志望校に合格できました。なので受験生の方もねばり強くあきらめずがんばってください。応援しています！

「くりかえして自信をつけよう」

T教室 Yさん 中学受験

私は、理科のてこが苦手な、でも自分の志望校に毎年でてるからがんばろうという気持ちで、過去問を1回だけではなくくりかえし解くことで身に付くから、てこやかつ車はきれいな人が多いと思うけれど、くりかえしといてみてほしいなと思います。また、入試が近づいてきていた時は、やっぱりきんちょうしていて、当日の方がもっときんちょうしていました。でも、そのきんちょうに打ち勝つためにも自信を持って入試を受けてきてほしいと思います。私は、すべり止めとして受けた所以外全部落ちてしまったけれど、そのすべり止めの学校もやっぱり受かる、絶対受かってやるという気持ちを持って受けたら合格できたので、そういう前向きな気持ちで本番をむかえてください。中学受験は初めての受験だから、きんちょうしているかもしれないけれど、自分の行きたい学校に受かるのは、とてもうれしいし、そこにたどり着くためにも、新6年生の皆さん、入試までの約1年間大変なこともあると思うけれど、大丈夫です。全力でがんばってください。心から応援しています。

「諦めずに心の余裕を持って挑戦」

S教室 Tさん 中学受験

僕は五年生の頃、算数は得意な方でしたが国語が苦手で、特に文章読解がさっぱりだったので、国語力強化のためにユリウスに入りました。

僕は志望校がS中だったのですが、日特に入れませんでした。そこで、ユリウスの過去問完成講座に入り、過去問を進めました。

過去問は難しく、合格最低点になかなか届きませんでした。でも、ユリウスの先生にできなかったところ、本番の戦略アドバイスをもらえ、それを参考にしました。帰国入試の時、初めての受験で日本大学中学校を受験しましたが、不合格になってしまいました。原因を考え、あまり重く受け止めすぎないようにしました。

本番を迎え、少し緊張をしながら挑んだ結果、なんと念願の中学に合格できました。

僕からのアドバイスは、本番は少し緊張を残して気楽に行くこと、日特に入れなかったり、テストや過去問がうまく行かなかったりしても、諦めずに心の余裕を持って挑戦すること。そうすれば、「きっと」じゃなくて「必ず」合格できる！

「諦めずに心の余裕を持って挑戦」

S教室 Nさん 中学受験

私が学習面や生活面で苦労したことは、家に居る時間での勉強に対してやる気がなかなかでなかったことです。好きな食べ物やゲームなどを勉強後のご褒美として用意し、それを目標にしてやる気を出すように仕向けていました。

諦めずに心の余裕を持って挑戦は、私は読書が好きだったので息抜きと国語の勉強を兼ねて物語のジャンルに該当する本を読むことでした。特に、少し古い時期に書かれた作品を読んでいると自分がまだ知らない言葉や表現に出会うことも多く、その言葉を理解して読み進めるために辞書で調べることで単語や表現の知識を増やしていました。説明文のジャンルにあたる本だと、筆者の理論や思想を理解できないと先に進めず、またそうした理論や思想は辞書には載っていないので、十分に理解できないまま読み進めてしまいがちになるので、物語がおすすめです。

志望校は、四年生になった頃から具体的に考え始め、五年生の半ばには大体決めていました。私が志望校を考えるうえで大事だと考えていたことは、学校見学や学校祭等のイベントを見学して自分自身で感じたその学校の先生・生徒の雰囲気、通学時間、自分が入りたいと思う部活があるかの三つでした。

入試が近づくにつれて、「あ、もう入試始まるのか」という軽い感じで受け止めていました。一月受験が始まってからも特に緊張するというわけでもなく、試験当日も「ああ、今日もやっぱり受験生がたくさんいるなあ、知っている人いないかな」と、かなり緩い気持ちで臨んでいました。この点は、自分の中でやる気スイッチが入っていなかったようにも思いますし、これまでに習い事の発表会等で緊張する場面にある程度慣れていた効果もあったのかなとも思います。

二月受験は、「いよいよ志望校順位の高い学校の受験日が近いな、何年もやってきた受験勉強もあと数日で終わるんだな」と自分としては淡々とした心境のつもりでしたが、やはり志望順位の高い学校の受験当日には「うわあ、当日なんか、ちょっと緊張してきたな」とそれまでとは違う気持ちの揺れを感じていました。

1日、2日で4校を受験しましたが、いずれも不合格でした。受けた学校の結果は合否を問わず知りたいと受験前に親に伝えていたのですが、2日目の夜までに繰り返し灰色の不合格画面を見ているとマイナスの気持ちが積み重なっていきました。そんな中で、午前受験だけを予定していた3日目に午後受験を追加するかを親

と話し合いました。自分が苦手と思っている算数と理科の2教科試験だったので、また灰色の画面を見る回数が増えることになるだけじゃないかという気持ちもあってすぐには決められませんでした。例題を解いてみた感触と、ユリウスや日能研の先生ともお話をして可能性を少しでも広げようという心境になり「受かって欲しいけれど、あまり結果に期待しすぎないようにしよう」という感じで追加出願を決めました。

3日目の午後は、校門前まで来ても「ああ、たぶん私このまま1日・2日と同じようにこの試験もあつけない落ちていくんだろな」と正直自信を持ってないままでしたが、問題を解き始めると、これまで教室でやってきたようにゴリ押しでなんとかなると感じられ、ひたすら解いていきました。

その夜は、前日まで全落ちだったことも相まってとても不安になっていましたが、4日目の試験に向けて就寝していたところを深夜に母から起こされ、合格を知らされました。自分でも信じられなくて何度も聞き直してしまいました。

2月受験を通じて、苦手だと思っている事でも、それまでやってきた積み重ねがふとした時に力に変わって自分を助けてくれることがあるんだという事を学びました。

私が後輩に伝えたいことは、受験本番は、すべて思い通りにいくとは限りません。志望校に落ちても、自分はまだ駄目なんだ無理だ受からない・・・うわあああ！！と悲観的にならずに、ああ、この学校に落ちちゃったのか、あー悲し・・・よし明日頑張ろー、と若干楽観的に考えてみることを私は強く推奨します。

最後になりますが、私は後輩の皆さんが第一志望校に晴れて合格することを切に願っております。頑張ってください！

「チャンスがあるならチャレンジ」

M 教室 Tさん 中学受験

私は中学受験に向けて、ユリウスで勉強してきました。大変なこともありましたが、応援して下さった先生方や家族のみんな、一緒に勉強を頑張った友達のおかげで乗り越えられ、無事に第一志望に合格できました。ありがとうございます。先生はわかりやすく、そしてわからないところを徹底的に、わかるまで教えてくださいました。また、つかれた時や何かあった時には雑談にのってくれて、悩みなんかも聞いて下さいました。それが楽しく、とても励みになり、続けられたきっかけにもなったかもしれません。毎週何かがあると「ユリウスで話したい！」と毎回思います。(大体話し忘れるのですが・・・笑)とにかく楽しくわかりやすく教えて下さりありがとうございます！！後輩受験生たちに言いたいのは「自信を持ち、緊張しないことを心がけてほしい」ということです。緊張してしまうと、普段解ける問題が解けなくなってしまうからです。「今までの努力が・・・🐱」とならないようにしてほしいです。あと、「チャンスがあるなら必ずやってほしい」と思います。合格する可能性があるからです。これら2つは実際に経験した話なので、この2つは本当に意識した方がいいです。私も二度目で合格したし、全然緊張しなかったヨ！！とにかくがんばって！！長くなってすみません。ありがとうございました。

「自分ならできる」

〇教室 Yさん 中学受験

テストの復習に真けんに取り組めるようにするため、入塾しました。志望校は小学五年生のとき、何度も見学に行き、自分の実力とも合っていたことから決定しました。寝る前の30分は必ず勉強し、寝る前と朝起きてから、同じことを2回やるという勉強法はとても効果的です。特に点数がのびなやんでいる教科や再確認しておきたいところをやると、すぐに定着します。入試が近づいてくるにつれてあれもこれもやらなきゃと思うようになり、きんちょうや心配、あせりがでてきました。当日は受験のことを深く考えず、リラックスして自分ならできると思って入試に取り組んでください。

「諦めずに目の前の問題に集中」

〇教室 Oさん 中学受験

僕がユリウスに入ったのは6年生の夏期講習と同時期です。まだ受験に対して不安がありました。中でも苦手なのは算数で受験の要となる教科です。塾やユリウス自習室では算数を重点的に教えて頂き、とにかくたくさん解いて基礎問題を固めました。第一志望校であった学校の出題範囲はほぼ全てなのでメモリーチェックなどを活用して広い分野の知識を頭に入れました。その学校は校庭がとても広く通いやすいので志望校に選びました。

入試が近づくと少し緊張してきて焦りましたが国語と社会には自信があったので、過去問のやり直しも算数や理科を中心に指導していただき、最後の復習として頭にいれました。

そして迎えた受験当日は第二志望からスタート、あまり緊張せず幸いだったと言いたいのですが隣の人があるさくあまり良い環境とは言えませんでした。家に帰り結果を見たところ不合格、一回タップするだけで結果が出るので現実ではないと思ったほどでした。二日目は本命だから行くまでの道がとても短く感じました。自信はあったものの社会が出来ておらず不合格、というように負の気持ちが続いていき五日目まですべてきれいに不合格でした。

五日目は3回目の第二志望入試で最後の受験。これに落ちたらほぼ公立中確定という別のプレッシャーの中臨んだところ。不思議に出来た気がして結果を見たら「合格」の文字が目飛び込んできて喜ぶという感情を通り越すくらい嬉しかった思い出します。

これから受験をするみなさん、僕のようにここまで不合格になることは稀だと思いますが、どこかが不合格になっても諦めずに目の前の問題に集中したら努力はきっと実を結びます。これまで支えて下さった先生方、親、友達もありがとうございました。

受験にはブドウ糖が入っているラムネやキットカットを持っていくのが個人的にはおすすめです！重ねてありがとうございました。

「大事にした方がいいこと」

N教室 Tさん 中学受験

大事にした方がいい事が二つあります。一つは先生や指導者の話を本当によく聞くこと。聞いた時は分からなくてもあとから思い返すとやっていること全部、ためになるようなことを言ってくれています。

もう一つは、切り替えを上手にすること。一つのことをやっている時に違うことを考えていると結局両方本気でなくなってしまう。以前、音楽のレッスンの先生に「楽器を弾いている時違う所が動いていると頭の半分は、弾いている事以外に使っている」言われました。その時は納得できなかったけれど、今は本当にそのとおりだと思います。

「にがてでもがんばった」

M 教室 S さん 中学受験

私が受験勉強でとくに気合をいれてがんばったのは算数と理科です。理由は苦手だからです。算数は公式を何も見ないでいえるようになるまで、必死で覚えてから、ひたすら栄冠をといたりして、少しずつ慣らしていききました。他につかった教材は、今までのテストでまちがえたところをコピーしてファイルにはった物をといたりしていました。受験当日の朝は簡単な問題をといていききました。理科は、生き物しか得意ではなかったのも、算数と両立させるのが難しかったです。ユリウスでは地学、科学、物理など幅広い分野を教えてもらっていました。私のオススメの教材は知識のまとめです。説明のあとに簡単な問題があり、クイズ感覚で解けるところはメモリーチェックではできないと思っています。

「苦手でもやるという習慣をつけるためのユリウス」

N 教室 N さん 中学受験

私がユリウスに入塾したのは、5年生の前期の頃でした。私は勉強があまり好きではなく、また、その頃は受験生という自覚がなかったのもあり、しっかり勉強に向き合っていませんでした。特に国語が苦手で、苦手だから点がとれない→復習してもわからない→やりたくないからやらないのループでした。その流れを止めて、苦手でもやるという習慣をつけるために私はユリウスに入塾しました。そのまま国語をユリウスでやり続け、講習中には算数や理科も加えてやりました。5年の後期から「そろそろちゃんと勉強しないと」と思い始め、勉強し、算社理は波にのっていききました。しかし、国語は一向にのびず、入試の1か月前ほどから、やっとできるようになりました。そして、入試当日私はあまり緊張せず、さらにはいつも以上の力を出すことができ、国語も自信がありました。そのようなことから入試当日は緊張しすぎないことが大切だと分かりました。新6年生でも新5年生でも、まだ入試まで時間はたくさんあるので今からやれば、入試までやればやるだけ成長します！入試が近づいて不安になったとしても、最後まであきらめなければなんとかなります！つらいこと、めんどくさいこと、たくさんあると思いますが、日々今日はこれを覚えた！今日はこれが解けた！などのプラスを探してがんばってください！

「私ならいける！という気持ち」

H 教室 T さん 中学受験

私は、算数が苦手だったのでユリウスに通い始めました。第一志望の算数がなかなか伸びず、このままだと、合格できないなと思っていました。ユリウスに通い始めたのは6年生の10月下旬だったので、本当に受験までに間に合うのかなと少し心配でした。ですが、ユリウスの先生方が私の算数で苦手なところを補強してくれたおかげで、第一志望の算数がだんだん解けるようになり、点数も少しずつ上がっていききました。そしてむかえた2月1日。私は、きん張しないように、「ここは第二志望校だ」と思いながら受けました。その日の第一志望校は不合格でしたが、午後を受けた第二志望校は合格だったので、2月2日はとくに落ちこまずに受けることができました。そして、2月2日に第一志望の学校の入試会場に着いた時は、ユリウスや日能研の先生方からももらったメッセージを見て、「私ならいける！」という気持ちで、入試に臨みました。結果は合格。ずっと行きたかった学校に進学することができるので、とてもうれしかったです。ユリウスの先生の方々、本当にありがとうございました！！

「一問一問しっかりと分かるまで先生に教えてもらいました」

S 教室 K さん 中学受験

ぼくは、5年生の三学期の頃にユリウスに通い始めました。その理由は、苦手だった国語の記述を克服するためです。一問一問しっかりと分かるまで先生に教えてもらいました。ぼくの第一志望校は城北中学校で、記述が非常に多い学校でした。なので、6年生の後半からは過去問の第一回と第二回を10年分、計20回やりました。20回分解き終わると、再び記述のみをもう一周しました。解いている時はとても苦しかったです、そのおかげもあって見事合格を勝ち取る事ができました。今まで色々な事を教えてくださった先生たちに、心から感謝しています。

「成長を感じました」

S 教室 F さん 中学受験

ぼくは、この受験期を経て自分の弱点である科目や知識を見つけることが出来ました。また勉強面以外では体力がつく、大勢の前でも物怖じしないようなメンタル面でも受験する前の自分より成長を感じることができました。今回の体験をして、中学でもより勉強ができるように習慣づけたいと思います。

「緊張してもあせらず頑張ってね」

M 教室 T さん 中学受験

算数が本当に苦手だったために、ユリウスに入りました。計算を必ず毎日一つずつやることを苦戦しました。なので、計算をやったら、自分へのごほうびで好きなことをすることで、逆境を乗り越えました。

社会をやっていた時に勉強法として、絵を見ながら関連することを読むと覚えやすくなります。

私は五年生の最後らへんに、セーラー服が好きだったので、セーラー服があるところを志望しました。

入試が近づいても、私は中々緊張しませんでした。第一志望校の入試の時は、とても緊張して驚きました。同じ実力の人が集まっているということ、一番驚きました。入試の時は緊張してもあせらず頑張ってね。

3年間何度も苦戦したけど、その度に勉強を教えてくれてありがとうございます。教えてくれたことを生かして、これからも頑張ります。

「ユリウスの先輩からいわれたこと」

T 教室 N さん 中学受験

暗記系や算数に苦戦したのですが、メモリーチェックや基礎の物をやり、乗り越えました。20分ぐらい勉強したら2曲音楽を聞いて、勉強するのは自分的には効果があったのでは！？と思っています。

6年生の3学期に志望校を決めました！理由は自分と合った学校が見つかったからです。

入試が近づいてきたとき焦りと不安でいっぱいだったのですが、ユリウスの先輩から言われた、あまり気にしないでいいし、その時間が無駄だと言われ、特に余計な不安を抱かないで入試に向かいました。とりあえず答案用紙をうめる事って大事だということと時間に対する危機感を得られたと思います。落ちたとしてもへこまないで、なんで落ちたのか考えることが大事だと思います！！

先生方！！見捨てないでくれてありがとうございます！！！！

「苦手だった教科が好きになりました」

S 教室 Kさん 中学受験

私は6年生にはいつからかのテストで、思うように国語の成績があがりませんでした。そこで、不安になり、6年生の3月ごろにユリウスに入塾しました。前期のころは授業でやった文章の間違った問題の見直しと、やっていない文章の問題を解いたりしました。成績は少しのびました。

後期では過去問を解きました。ですが、算数の過去問を解いてもなかなか点数をとることができず、11月にユリウスで算数も始めることにしました。過去問では問題の取捨選択を教えてもらい、とらなければいけない問題の中で、苦手な分野をきっちり教えてもらいました。そのおかげでなんとか合格者最低点をとることが少しずつできるようになりました。

また、ユリウスの講師の方と雑談したり、勉強とは関係のない話をしたことで、気分転換になったし、楽しかったです。今では苦手だった国語が好きな教科になりました。最後まであきらめないことが大切だと思える経験となりました。

「気楽に楽しく」

A 教室 Sさん 中学受験

入試の前日は生ものなどを食べないようにしたり早くねました。いつもよりねるのが早かったからねむりづらかったから、あたたかい物をのみました。私は、一回だけの入試だから気楽に楽しく行くことができました。昼休けいときはねむくなるからあんまり食べないようにしました。

「きんちょうしませんでした」

H 教室 Nさん 中学受験

自分に合わせて教えてくれてわからないところもわかるようになって、受験当日もきんちょうしませんでした。受験会場に、ラムネやおかしなどを持って行くと、帰りや休けい中などに食べれたので良いと思いました。カイロなどを持っていくと、手などがあたたかくなって、テスト中も寒い思いをしなくてよかったです。持っていてよかったですと思いました。

「両親に感謝」

T 教室 Sさん 中学受験

ぼくは、空手が好きで中学生になったら、空手が強い学校に行きたいと思い自分から親に受験をしたいと言いました。そして、3年生の終わり頃に日能研に入塾しました。最初は受験をして、いい中学に行きたいという目標がありましたが、正直受験とはどのようなものかわかりませんでした。また、空手が強い部活があるいい中学校とはつまりどういう中学校なのかを深く考えていませんでした。しかし、学年があがるごとに受験とはどのようなものなのかを理解できるようになりました。また、中学校の説明会や文化祭に行くことにより、本当に行きたい中学校とはこういう学校なんだと知るようになりました。5年生は受験も近づいてきたので、受験する中学校を決め、その中学校に合格するために勉強を今まで以上に気合を入れてやり始めました。6年生になり勉強を効率よくやる方法を見直し、自習室に行き始めました。夏期講習中は中学校に合格するために午前中は自習室で勉強し、午後は授業に参加するという習慣をつけました。後期からは中学校の過去の問題を何回も解きました。受験の1ヶ月前から基礎を学び直し、受験に備えました。受験の前日の会や、受験当日の朝の会での先生方の言葉がとてもやる気にさせてくれました。両親も自分のサポートを全力でしてくれました。2月1日の午前の中学校も午後の中学校も合格をくださったおかげで、2月2日の受験のテストも集

中して解くことができました。そして無事受験を終えました。一番行きたい中学校に合格したのは両親や日能研の先生方、ユリウスの先生方のおかげで、今でも感謝しています。また、受験では勉強をやる習慣をつけることができたのでこれからもその習慣を忘れないで受験という経験を今後に生かしていきたいです。

「あきらめなければなんとかなります」

T 教室 O さん 中学受験

第一志望の学校は、4年生のときに行った文化祭がきっかけです。みんなが楽しそうで、校風もよく「ここに絶対に通いたい！」とその時から思っていました。でも、ぼくにとってその学校は少し難しく、特に算数は日能研の授業についていくのが精一杯だったので、ユリウスに通ってできるだけ「分からないままにしない」ようにしました。それでも秋から冬にかけては本当につらかったです。公開模試の成績が全然上がらなくて「もうダメかも・・・」と何度も自信をなくしました。でも先生や両親に「基礎を固めよう」と言われ、一行題とテキストの基本問題を何度も解きました。1月の入試はとてつもなくきんちょうしました。でもそこで合格をもらえたことで自信ができました。最後の最後まで算数は苦手だったけれど、入試の前日まであきらめずに取り組みました。他の教科も苦手な順に取り組んで一点でも多く取れるように準備しました。担当してくれたユリウスの先生は志望校の出身で、最後まで親身になって教えてくれたので本当に感謝しています。あきらめなければなんとかなります！ぼくはこの入試を通してそれを学びました。みなさんも目標に向かってがんばってください。

「あきらめずに高い目標をもって」

T 教室 O さん 中学受験

ユリウスには苦手な国語の対策をするために入りました。三年前に兄が M 先生に教えてもらい苦手ではなくなったと聞いていたので私もお願いすることにしました。志望校は、これまで続けてきたバレエを受験で中断することなく続けられる大学附属を希望していました。大学附属のいくつかの学校の文化祭を見に行った時に生徒がとても楽しそうにしていた学校を志望校にし、そこを目指して勉強をがんばりました。私は、6年生の11月までバレエを続けていたので、時間に余裕がなく勉強との両立がとても大変でした。でも、毎朝の勉強は続けて良かったなと思いました。

試験の前日は、きん張せず意外と普通に過ごせましたが試験当日は、やっぱりきん張してしまいました。結局、第一志望には届かなかったけど、そこを目指していたからこそ、他の学校で合格をもらえたのだと思います。だから、自分には無理だと最初からあきらめずに高い目標をもってこれから受験する皆さんもがんばってください！お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

「本当にうれしかった」

T 教室 S さん 中学受験

入試会場は静かで、すごくきんちょうした。これまでのテストとは違い、一回では終わらない。2月1日の午前のテストではそこまで自信がなかった。午後は二科目入試。国語と算数。どちらかを落とすだけで勝敗が決まる。国語の自信があまりなかった。算数はかなり自信があった。その学校は毎年、平均点が高いので、少しの失敗も許されない。その日の夜は結果を待ち遠しく思うと同時にきてほしくないような気もした。そして次の日の朝、自分が起きた時、昨日自分が入試を受け、今結果が出ていると思うと、ぞっとする。朝は午後の結果しかまだ出ていない。アイパッドで学校名を入力し、可否の結果を見た。その学校は番号形式なので、自

分で番号を探した。探している時、番号が4つぐらいとばされている所があった。すごく不安になる。自分の所の近くまで来る。見た時、うれしかった。合格だった。その後、午前、午後と入試を受け、午前は不合格、2月1日の午前も不合格で悲しかった。しかし、2月2日は違った。合格だったのだ。結果その学校へ入学できた。本当にうれしかった。

「算数がだんだん好きになりました」

T 教室 K さん 中学受験

私は元々、算数の図形問題が苦手で、なかなか解けず、算数に対して苦手意識を持っていました。問題が解けないと自信をなくし、不安になることもありました。しかし、ユリウスに入塾して先生にていねいに教えていただくうちに、少しずつ解き方がわかるようになり、算数がだんだん好きになりました。自分一人ではできなかった問題が解けたときの達成感はとてもうれしく、もっと頑張ろうという気持ちにつながりました。自習室にもたくさん通いましたが、時にはさぼってしまい、先生や親に注意されることもありました。それでも先生方は最後まであきらめずに声をかけ続けてくださり、そのおかげで私も前向きに努力を続けることができました。受験当日はユリウスで教えていただいたことを思い出し、落ち着いて問題に向き合うことができました。そして、志望校の一つである鷗友学園中学校に合格することができ、とてもうれしかったです。先生方ありがとうございました。鷗友学園女子中学校で東大目指します。

「入試を通じて得られたこと」

M 教室 H さん 中学受験

ぼくがユリウスに入ったのは友達に連れてこられたからです。そのときにユリウスで自習したら、とても勉強が進んだから入るのを決めました。入試までの勉強としては、メモリーチェックがくばられるのでそれを入試までに3周くらいすると社会と理科は安心できます。志望校はあせらず、夏期講習くらいに決めればよいと思います。入試を通じて得られたこととしては「集中力」が増えたことや大人との付き合いがわかったり、忍耐力が増えました。友達と話すのも増えたし、いいことがいっぱいでした。入試は算数ができればほとんどわかります。算数の教材を何周もやるのが大切だと思います。国語は最低でも語句を6割とればよいと思います。最後に指導者のみなさんへ、6年生の夏期講習からという短い期間だったけれど、一緒に勉強していただき、ありがとうございました。

「私をここまで強くしてくれてありがとうございました」

A 教室 T さん 中学受験

私は自宅近くの集団塾に通っていて、地元の公立中学校に進学する予定でした。そして、それは約8年間続けてきた新体操を辞めることになります。やはり新体操部を諦めきれず、新体操のあるH中のオープンスクールに行ってみると、素晴らしい環境で新体操を続けられることはもちろん、英語教育にも力を入れており、公立中学では経験できないような語学研修もあって「ここに絶対行きたい！」と中学受験を決意しました。

しかしすでに6年生の5月になっていて出遅れていましたし、どうすればH中の合格を勝ち取れるのかわかりませんでした。わらをもつかむ思いでH中の個別相談会でどの塾出身の生徒が多いか聞いてみたところ、それが「ユリウス」でした。集団塾でやっていたので、小学校の勉強はわかっていたつもりでしたが、はじめて中学受験のテキストを解いたとき、1~2問程度しか解けずにショックだったのを覚えています。そこから先生には私が理解するまで、解き方を覚えるまで何度も教えてもらいました。ある程度スラスラ解けるように

なって、10月頃に受講した過去問講座では、算数はほとんど取れずに、また壁にぶつかりました。しかし決してやる気をなくさないよう接してくれました。受験直前に郵便ポストに届いた先生一人ひとりからの応援メッセージはとても励みになり、受験当日もカバンの中にお守りとして持って行きました。無事に第一志望校の合格を勝ち取れて、先生方や両親には本当に感謝をしています。約8ヶ月で、私をここまで強くしてくれてありがとうございました。

「合格したいという思いがあれば」

M 教室 Y さん 中学受験

6年生の春はやる気がでないかもしれないけれど、「合格したい」という思いがあれば春からでもがんばれたと思う。最後の2週間ちょっと勉強したら初日に合格したから、ちょっとした事で人間変わるな~と思った。結局は本人のやる気しだいなので、親はあんまり子供の感情に介入しない方がいいと思った。ユリウスに入ったことで勉強の理解度が高まったと思う。夏~秋の間に目標を見失うことがあったので、常に「小さい課題」をつくって勉強するべきだと思った。周りの友達などと比べてしまってモチベが下がってしまったりしたので、自分の事だけに集中するように冬頃から心がけた。とにかく、9月からがんばればどんなに難しい学校でも合格できるからがんばってほしい。

「生徒が楽しめるような授業」

K 教室 S さん 中学受験

2対1での過去問指導や苦手な分野を補正してくれた質問などにしっかり答えてくれた。自習室でうるさい人がいるとすぐに指導してくれ授業では面白おかしくして生徒が楽しめるような授業をつくってくれた先生たちのおかげで最後まで頑張ることができた。